

☆東海で発達するさまざまな産業(教 P226～227)

C組 9番 氏名: 後藤 蓮

◎本時の問い

なぜ渥美半島は、野菜や花の生産が盛んになったのか。

1. 東海地方の農業

・静岡県牧ノ原・磐田原: (① 茶) の栽培

一温暖で、日当たりや水はけがいいところで茶は栽培できる。

・渥美半島: (② 園芸農業) : 都市向けに野菜や花などを栽培。

Q.なぜ渥美半島は、野菜や花の生産が盛んになったのか。グループで分担して調べよう!

☆視点1:渥美半島の地形に注目(農業がしやすい環境か)(地 P111-DE,5)

・地面が平たくて日当たりが良く、土壌も水にも通じやすい。
農業しやすい。

☆視点2:渥美半島の農業方法に注目(菊栽培の方法と理由)(教 P227-5、本文)

・温室の中で育てていて光と電気でいばりや日照時間などは
一定に保ちながら抑制栽培が行なわれている。

☆視点3:渥美半島の気候に注目(浜松の気候の特徴と理由)(資 P168-2、雨温図)

・園芸農業にふさわしい気候である。

☆視点4:輸送に注目(どこにどうやって運ぶ?なぜ渥美半島がいい?)(資 P172-A4)

・船を使って、高知港の近くに運ぶ。
三大都市圏の近くにあるから運ぶには便利だから。

※用語補足

(③ 施設園芸農業) : ②の一種。温室(ビニールハウス)などの施設を使う。

(④ 名古屋大都市圏) : 日本で3番目に大きな大都市圏

2. 焼津の漁業

Q.なぜ焼津でとれるまぐろやカツオは冷凍した状態で港に届ける必要があるのか。(教 P227)

・遠くまで運ぶために冷凍している。
焼津は遠洋漁業をやっているから。

☆内陸にある中央高地の産業の移り変わり(教 P228～229)

C組 9番 氏名: 後藤 蓮

◎本時の問い

中央高地の産業はどのように変化したのか

1. 中央高地の農業

○長野県 レタス栽培

Q.他の県と比較して、長野県はレタス栽培においてどのような点で有利なのか。(教 P229-5)

・収穫するときに、茨城県などでは収穫が難しくなっているから、はんぱい
を収穫できる。→ずいぶん、早くに栽培できる。→抑制栽培が可能

Q.なぜ夜が明ける前に出荷しているのか。(教 P229-4)

・三大都市圏に収穫してその日の昼までには届けたいから。
出荷が増える時間帯

(① 高原野菜) の栽培が盛んにおこなわれる。

○山梨県 甲府盆地

(② 扇状地) の地形の特徴を生かした農業

Q.地図帳 P116-8から 1951 年と 2018 年の変化を読み取ろう。

・桑畑やそれ以外の地方果樹園となっている。(市街地も少
ない)

Q.なぜ②では米を作るのに向いていないのだろうか。(復習!)

・水はけがよく、石のつぶが大きいから

2. 中央高地の工業

Q.長野県諏訪湖では、「東洋のスイス」と呼ばれているがそれはなぜか。

地図帳 P116-7から 1928 年→2014 年の変化を読み取り、考えよう!

・製糸かなはりの③・④が増えた。

(③ 精密機械工業) : 時計やレンズなどの産業

(④ 電気機械工業) : 電子部品、プリンターや産業用ロボットなど